

Cente Technical Information

発行番号	001-0037	Rev	第1版	発行日	2011/12/09
------	----------	-----	-----	-----	------------

題名	ctselect()で、受信データがないにもかかわらず受信イベントが発生したように見える場合がある
----	---

情報分類	障害情報
------	------

適用製品	<ul style="list-style-type: none">・Cente TCP/IPv4 Ver.1.20 - Ver.1.32・Cente TCP/IPv4 SNMPv2 Ver.2.00 - Ver.2.12・Cente TCP/IPv4 SNMPv3 Ver.2.00 - Ver.2.12・Cente IPv6 Ver.1.20 - Ver.1.42・Cente IPv6 SNMPv2 Ver.2.00 - Ver.2.12・Cente IPv6 SNMPv3 Ver.2.00 - Ver.2.12
------	---

関連資料	なし
------	----

【該当するユーザ環境】

ctselect()を使用して、受信可能ソケットデスクリプタreadfd、送信可能ソケットデスクリプタwritefdの両方を指定しているユーザ。どちらか一方のデスクリプタをNULLにしている場合は該当しません。

【障害内容】

ctselect()は、監視対象のソケットをビットで表したデスクリプタを引数として渡し、イベントがあったソケット以外のビットをクリアして返す関数です。しかし、readfd、writefdの両方を渡した場合、イベントがなかったデスクリプタのビットをクリアしていませんでした。そのため、例えば「送信は可能だが、受信データは存在しない状態」の場合も、受信イベントがあるように見えてしまいます。

【発生理由】

イベントがあったデスクリプタの処理は行っていましたが、その際に他方のデスクリプタ内容を変更することなく、そのまま関数から返っていました。

【回避方法】

- ・どちらか一方のデスクリプタのみを指定してctselect()を呼ぶようにする。
- ・ソースコードを修正し、readfd、writefdの両方指定した場合も正しく動作するようにする。

(変更箇所については、営業担当またはsupport@cente.jpまでお問い合わせください。)

以上